



G GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

国際ロータリー第2830地区 2025-26 ガバナー月信

No.11
5
MAY



地区クラブ活性化ワークショップ 4月19日(日)

contents

1. ガバナーメッセージ
3. ロータリー特別月間
4. 委員会活動
7. 地区クラブ活性化ワークショップ開催報告
8. IM開催報告
10. クラブ活性化セミナー2026参加報告
12. 会員動向
14. 会員数の増減と出席率
15. 地区行事予定
17. ロータリー活動写真募集
17. 編集後記

よいことのために
手を取りあおう



国際ロータリー第 2830 地区事務所
〒030-0812 青森市堤町1丁目1-23 ホテル青森内
TEL.017-732-2830 / FAX.017-732-2831
E-MAIL rid2830@outlook.jp

ガバナーメッセージ

ガバナー 米谷 恵司

久しぶりに他地区大会に参加して参りました。同じ東北2520地区大会が仙台で開催されました。ガバナーは仙台育英高校校長兼理事長の加藤雄彦氏です。

バイタリティの塊で一目置かれている存在です。2520地区は岩手、宮城の二つの県で構成されていますが、宮城県1,130名、岩手県916名合計2,046名の会員を擁する地区です。

本大会においては、地区ロータリー研究会と称して「手を取って未来へ — HAND IN HAND TO THE FUTURE」のテーマのもと、平和と国際協力、そして次世代への責任について、改めて認識を深める事を目的として開催された大会でありました。特に、日本・ウクライナ国際共同委員会(ICC)の取り組みを通じ、国境を越えた連携の意義を強調されたことは大きな成果であったと感じられました。日本34地区中22地区よりガバナー及びパートナーの総勢34名の参加でした。ホテルメトロポリタン仙台という交通の利便性もあり参加者には好都合であったと感じられました。本大会にて「超我の奉仕賞」の報告がありました。この賞は2830地区において関場慶博パストガバナーが受賞されております。「超我の奉仕賞」とは、ロータリーにおける最高の個人栄誉でこの賞は、国際ロータリーが世界中のロータリアンの中から、特に卓越した奉仕活動を長年にわたり実践し、地域社会や国際社会に大きな影響を与えた人物にのみ授与する極めて名誉あるものです。毎年ごく限られた人数しか選ばれず、その選考は非常に厳格です。関場慶博パストガバナーは、長年にわたり地域社会への貢献はもとより、国際的な奉仕活動にも積極的に関わり、まさに「超我の奉仕(Service Above Self)」を体現してこられました。その継続的かつ献身的な活動が高く評価され、この栄誉に輝かれたものです。ロータリアンとしての模範であり、多くの会員にとって目標とされる存在と言えるでしょう。今年度のこの栄誉ある「超我の奉仕賞」は2520地区推薦で日本でただ一人だったようです。今後我が2830地区においても二人目の受賞を期待するものであります。



さて、5月は若い人々の育成を支援する全てのロータリー活動に焦点を当てる「青少年奉仕月間」です。青少年奉仕は、未来を担う若者の成長を支える重要な活動であり、ロータリーの五大奉仕の中でも、特に将来への投資と言える分野です。しかし私は、この青少年奉仕こそが、同時に「会員増強」の鍵を握っていると強く感じております。

インターアクト、ローターアクト、青少年交換、RYLAなどのプログラムを通じて関わった若者たちは、ロータリーの理念や価値観を自然と身につけていきます。そしてその経験は、やがて「ロータリーへの共感」となり、将来の入会、さらにはクラブの担い手へとつながっていきます。

つまり青少年奉仕は、「今の奉仕活動」と同時に、「未来の会員を育てる活動」でもあるのです。

また、若者との関わりは、クラブの活性化にも大きく寄与します。例会や事業に若いエネルギーが加わることで、雰囲気は一層活気づき、既存会員にとっても新たな刺激となります。その結果として、外部から見ても魅力あるクラブとなり、自然と入会希望者が増えるという好循環が生まれます。

近年、多くのクラブにおいて会員数の維持・増強が大きな課題となっております。しかしながら、「会員を増やそう」と力むだけでは、なかなか成果には結びつきません。大切なのは、「選ばれるクラブ」であることです。

青少年奉仕に積極的に取り組み、地域に開かれ、未来志向の活動を展開しているクラブには、自然と人が集まります。そこには共感が生まれ、「自分もその一員になりたい」という気持ちが芽生えます。

私は、会員増強とは単なる数の拡大ではなく、「共感の輪を広げること」であると考えております。そしてその中心にこそ、青少年奉仕があるのではないのでしょうか。

どうかこの5月、各クラブにおかれましては、青少年との関わりをこれまで以上に大切にいただきたいと思います。そしてその活動を広く発信し、地域社会とのつながりを深めることで、会員増強へとつなげていただければ幸いです。

未来のロータリアンは、すでに私たちのすぐそばにいます。その芽を育てるのは、今の私たちの行動にほかなりません。

結びに、皆さまのご健勝とクラブのさらなる発展を祈念申し上げますとともに、青少年奉仕活動と会員増強の一層の推進を心よりお願い申し上げます。

青少年交換委員会事業の報告

青少年交換委員長 白鳥 五大
(青森RC)

①3月23日青天となり、桜が満開となった名古屋からバスで40分。愛・地球博記念公園内のジブリパークにて「あいちピクニックinジブリパーク」と題して青少年交換プログラムが開催された。この事業は愛知県を中心とした2760地区青少年交換委員会の主催で開催された。当2830地区のダニエルボンフォリオ君の他三重岐阜地区である2630地区からの参加もあり複数地区による開催となった。IBS(inbound student 海外から日本へ来た留学生)18名 OBS (Outbound student 海外へ留学予定の日本人生徒)10名 ROTEX(OBS帰国者)7名 ロータリアン31名の総勢66名で開催された。

2630地区は2027年6月11-13日に開催される予定のRIJYEM研究全国集会in名古屋の開催を控えており、今回のこのキャンプを通じて全国の地区にこのイベントを通じて青少年交換大会を成功させる布石チスタイトの意向も感じられた。

参加したダニエル君も「ジブリの森を訪問してみたかったのでとても良い機会になった。」と喜んでいて。他地区への異動については「ホストファミリー又はロータリアンの同行引率が必要」との規定が青少年交換プログラムの規定にある。今回交換留学生のダニエル君の希望が他地区で開催される青少年交換スプリングキャンプであった為、地区青少年交換委員のロータリアンとして引率をした。これが普通に「ジブリパークに行きたい。」であったなら即却下したと思われる。2630地区としても地元の観光資源を利用した新しい試みとしている。

② 先日花巻の地で3月19-21日にかけて開催された「東北地区青少年交換キャンプ」においては、日本人であるOBSには3-5分の英語のスピーチの特訓、外国人であるIBSへは日本語スピーチの特訓を実施しました。最終日のスピーチコンテストでは素晴らしい成果としての発表となりました。2830地区IBS ダニエルボンフォリオ君のスピーチ「どうして私は日本の神社仏閣御朱印に興味を持つようになったか?」が最優秀賞を受賞したのです。ダニエル君は「朝の4時まで練習した。」とのこと。

スピーチの内容はホストファミリーと一緒に近所の神社をみて「美しい」と感じた。そして神社や寺院を回ると御朱印をもらえることがわかり御朱印帳を手に入れ集めるようになった。実際に集めた御朱印が20個弱あり、この美しい御朱印を集めるうちに自分もこの日本の美術芸術の理解を深めたいと黒石高校の書道クラブに入った。という内容でした。

③ イタリア・サルディーニャ島へ交換留学中の村上さくらさん、米国カンサス州へ留学中の澤口菜月さんからもマンスリーレポート等で素晴らしい活動報告が届いています。

④ 来年度の留学について、希望者を募集しています。留学希望者のお心当たりのある方、ぜひお声がけください。

2026学年度オリエンテーションを開催報告

米山記念奨学委員長 佐藤 一尚

今シーズンの雪害!?は一体どこへ?と思えるようになり、少しずつ春の訪れを実感しながら、全国各地より桜開花の知らせが届く今日この頃ですが、去る4月11日に当委員会主催で新学年度の米山奨学生・カウンセラーのオリエンテーションを開催しました。今学年度で新たにお世話させて頂く米山奨学生は7名となります。昨学年度からの継続奨学生が4名で、計11名の米山奨学生を今学年度はお世話させていただきます。

オリエンテーションが進行していくと、米山奨学生の面持ちが真剣になってきました。私も同様に「しっかりとお世話しなければ」という強い気持ちを持たせて頂き、この緊張感が大切だなと思いながら説明をさせていただきました。とは言っても、細やかに説明している訳ではなく・・・何かありましたら、私までご連絡頂ければと思います。7名の米山奨学生をお世話頂く各クラブ会長・カウンセラーの皆様には、ご苦勞お掛けすると思いますが、是非この機会をクラブ活性化の一助として米山奨学生と楽しくロータリー活動をして頂ければと思います。どうぞ宜しく願い申し上げます。

さて、当地区では毎年米山奨学生をお世話させて頂いておりますが、米山奨学生となるためにどのような順序を経ているかお伝えしたいと思います。まずは、所属大学での推薦がなければ面接選考を受ける事が出来ません。そして、面接選考会において、面接委員の質問に答え自身の想いを伝え、その結果として米山奨学生として選ばれます。狭き門に多くの応募者がいて、その中で選ばれし者が、晴れて米山奨学生として活動する事が出来ます。留学生の誰しにも応募資格はあっても、誰でも受け入れている訳ではないという事を知って頂ければと思います。そして、そんな彼らは世界各地から青森に来ている留学生です。言葉や文化が違い、生活するだけでも大変な状況の中、青森を選んで留学してくれた若者です。もし自分がそんな状況で自分の将来のために異国の地で頑張ろうとする事は並大抵の事ではないと感じるはずで、彼らは、若いながらも苦勞を重ね、米山奨学生という資格を勝ち取っている事を分かって頂ければと思います。

さあ、米山奨学生はこれから様々なカリキュラムを受け、皆様が所属するクラブへ卓話訪問などでお邪魔する事となります。是非、それをきっかけとして米山奨学生の活躍ぶりを見守って頂ければと思いますし、その一つの行動方法として、米山寄付にご寄付をして頂ければとお願いさせていただきます。大学所在地の関係もあり、当地区内にすべからく米山が伝わっていないかと思いますが、この紙面を通して、少しでも米山奨学生の事をご理解頂ければ幸いです。



6年4月11日(土) 10:00 ホテル



地区委員長職を退任するにあたって

インタラクティブ委員長 **松山 隆志**

(野辺地RC)

2021-22年度より地区インタラクティブ委員長を務めさせていただきました。この5年間、多くの方々のご協力により楽しく有意義な活動を続けることができました。まずもって歴代ガバナーはじめ地区の皆様にご心よりお礼を申し上げます。

地区インタラクティブ委員会では例年

①地区内各高校に組織されたインタラクティブクラブのメンバーが一堂に会しその活動についての情報を報告し合うとともに、寝食も含め共働することによって友情と親睦を深める事を目的とした「インタラクティブ年次大会」の開催。

②各校インタラクティブを海外へ派遣。現地の一般家庭にホームステイしながら異郷での生活を体験、現地高校生との交流による人生への糧としてもらおうという「インタラクティブの翼」の実施。

③在学中の積極的な奉仕活動に対する顕彰制度である「ガバナー表彰」

の3つ事業を活動の柱としております。この3つのどれもが地区内インタラクティブメンバーにとってその活動の目的ともなる大切なものであり、いろいろな皆様のご支援・ご協力があってこそ実現できているものです。

委員として何年かこれらの事業に携わっていた私が委員長を担当させて頂いた初年度は、コロナ禍もようやく落ち着きを見せ始めてきた頃であり、世界中が「そろそろ以前の生活を取り戻そう」という気風を持ち始めてきた頃でした。委員会の諸活動についても徐々に再開させなければならないという使命感に燃えていたのを思い出します。全ての活動に制約がかかり思い通りに実施できなかったコロナ禍の3年間のブランクは、以前通りに再開するには大きなハードルとしてのしかかっていたのですが、地区内外のロータリアン諸氏や各校先生方のご支援・ご協力により徐々に以前のような活動を実現する事ができるようになり現在に至っております。

委員長就任以来、個人的にはたくさんの経験と出逢いがありました。地区内の方々とは委員会の枠を超え各種事業を共働する中で仲間意識が生まれ、ロータリー研究会はじめ各種全国大会への出席では、いままで訪れる機会が無かった土地を訪れその地の味を楽しみ全国各地の皆さんと会話を楽しむことが出来ました。ロータリーのバッチが初見の方々とも違和感なく会話を弾ませてくれたことは言うまでもありません。自分と同じ立場の方々が「すべてはインタラクティブのために...」との思いで活動していることを声高に話していたことが印象的でした。こうした経験は自身の大きな宝物でありこれからも大切にしていきたいと思っています。入会当初先輩から教わった「ロータリーは人生の道場である」という言葉が違和感なく納得できるようになった現在の自分です。

これからも「本物のロータリアン」を目指し積極的に活動し続けていきたいと思っております。

国際ロータリー第2830地区

2025-2026年度 地区クラブ活性化ワークショップ開催報告

木村 雅大

(青森モーニングRC)

2026年4月19日(日)、リンクステーションホール青森において、「国際ロータリー第2830地区 地区クラブ活性化ワークショップ」が開催されました。会場には地区内各クラブから多くのロータリアンが参加し、クラブの活性化と会員増強という共通課題について、学びと対話を深める有意義な機会となりました。

開会にあたり、米谷恵司ガバナーより挨拶と趣旨説明が行われ、本ワークショップが、ロータリーの未来を見据え、各クラブがより元気で魅力ある存在となるための実践的な学びの場であることが示されました。

続いて行われた基調講演では、第2地域ロータリー会員増強コーディネーターであり、東京麹町ロータリークラブ所属の若林英博氏が、「もっと元気なクラブになろう」と題して講演されました。講演では、会員減少という全国的な課題に向き合うため、単なる危機感の共有にとどまらず、各クラブが実際に取り組める具体策が、ユーモアやクイズも交えながら分かりやすく示されました。

内容の柱となったのは、戦略的オープン例会の実施、クラブ独自の会員種別の導入、衛星クラブの活用、そして退会防止の視点です。戦略的オープン例会では、ゲストが安心して参加できる雰囲気づくりや、丁寧な招待、座席配置や役割分担の工夫が重要であることが示されました。また、シニア会員・家族会員・WEB会員など、多様な参加の形を認める発想や、柔軟な例会形態を可能にする衛星クラブの考え方も紹介され、時代に即したクラブ運営のあり方を考える大きな示唆となりました。

さらに若林氏は、会員増強には「人の魅力」と「組織の魅力」の両方が必要であると強調されました。ロータリアン一人ひとりの人間的魅力や誠実な姿勢、そして地域から見て「入りたくなる」と感じられるクラブの魅力こそが、これからの活性化の鍵であるとのメッセージは、参加者に強い印象を残しました。

その後は、参加者が5つのグループに分かれ、「会員増強とクラブの活性化を目指して」「あなたにできるクラブ活性化」の2つのテーマについて、ファシリテーターの進行のもと意見交換を行いました。各会場では、基調講演の内容も踏まえながら、自クラブの現状や課題、今後取り組むべき工夫について活発な議論が交わされ、参加者同士が実践に結びつく気づきを共有する場となりました。

全体会議では各分科会の報告と講評が行われ、最後に米谷ガバナーより閉会の挨拶がありました。閉会後は会場を青森市内の「つかさ」に移し懇親会が開かれ、和やかな雰囲気の中で親睦を深めるとともに、地区内クラブが新たな挑戦に向けて力強く連携していくことを確認する機会となりました。

このワークショップは、クラブの活性化とは特別な誰かが行うものではなく、各会員が「自分にできること」から一歩を踏み出すことによって始まるのだと、あらためて感じさせる一日となりました。

南グループ インターミーティング開催報告

南グループガバナー補佐 **小林 幹夫**
(八戸RC)

2025年4月4日(土)、午後3時より八戸グランドホテルにおいて、2025-26年度南グループ インターシティミーティング(以下、IM)を開催いたしました。

本IMは当初、2月7日に同ホテルでの開催を予定しておりましたが、昨年12月8日に最大震度6強を観測した青森県東方沖地震の発生により延期いたしました。それにもかかわらず140名を超える皆様にご参加いただきましたことを、心より感謝申し上げます。



1. 今年のテーマについて

今年のIMのテーマは、国際ロータリーの最重要課題でもある「ポリオ根絶活動」といたしました。このテーマを選んだ背景には、私自身のロータリーでの出会いがあります。十和田東RCの白山様との交流をきっかけに、ロータリー活動の中での出会いがその後のロータリーライフをいかに豊かにしてくれるかを皆様と共有したいと考え、このテーマを選定いたしました。



2. プログラムの内容

今回は、第2830地区でポリオ根絶活動の中心的役割を担ってこられた3名の方に、それぞれ約20分ずつ卓話をいただきました。登壇者は、成田秀治パストガバナー、成田俊介ガバナーエレクト、地区ポリオプラス委員長の木皮美賀様です。

成田秀治パストガバナーには、2012年からの活動経験をもとに、関場パストガバナーや白山様とともに歩んできた地区におけるポリオ根絶活動の歴史と取り組みについて、具体的な数字を交えながら多角的にお話しいただきました。



成田俊介ガバナーエレクトには、医師の立場からポリオウイルス感染症の基礎知識や世界の感染状況、「End Polio Now」実現に向けた課題についてわかりやすくご説明いただき、参加者の理解を深める機会となりました。



木皮美賀ポリオプラス委員長からは、2025年11月に渡航したパキスタンでの活動を動画を交えながらご報告いただきました。現地の様子が生き生きと伝わる内容で、次回渡航予定(2027年1月30日～2月3日)のご紹介とともに、今後の活動への期待がますます高まりました。昨年のパキスタン渡航メンバーが一堂に集ったほか、遠方の第5420地区ウエストジョーダンロータリークラブからもご参加いただきました。



3. 懇親会について

懇親会では、他クラブの会員同士が交流できるよう、複数クラブの会員が同じテーブルに着席するようテーブルを事前に指定いたしました。例年はクラブごとの配置になりがちなか中の新たな試みでしたが、参加者の皆様からご好評をいただき、今後も継続する意義を感じております。



締めくくりの「手に手つないで」では、機材トラブルにより音響が使えなくなるアクシデントが発生しました。そのとき、三浦真介RLI委員会委員長が機転を利かせてピアノの生演奏を披露してくださり、会場は温かな雰囲気になりました。この思いがけないサプライズは大変好評で、今後のIMの新たなスタイルとして検討しているところです(笑)。



4. おわりに

今回のIMは、外部の講師を招くのではなく、地区内のメンバーで構成し、仲間同士で語り合い、ともに楽しむというコンセプトで企画・運営いたしました。それでも参加された皆様にとって充実した時間となりましたならば、主催者としてこれ以上の喜びはございません。

ご参加いただきました皆様、そしてさまざまな形でご協力いただきましたすべての皆様に、心より感謝申し上げます。

引き続き、南グループの活動へのご支援とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

クラブ活性化セミナー2026 テーマ「会員がやめないクラブづくり」参加報告

ガバナーエレクト 成田 俊介
(弘前西RC)

クラブ活性化セミナーが2026年4月27日(月)、28日(火)パシフィコ横浜で開催され出席してきました。当地区からの参加者は実行委員の地域リーダーとして 第一地域ARMC 花田勝彦副ガバナー、第一地域ARRFC 成田秀治パストガバナーが出席され、招集対象者として米谷ガバナー、ガバナーエレクトの自分と岡山ガバナーノミニ、佐藤ガバナーノミニ、デジクネット、吉田地区会員増強委員長の7名で参加してきました。4月27日(月)10:00からRI2520地区の菅原裕典第一地域行動計画推進リーダーの総司会会で始まり水野功RI理事、辰野克彦TRF管理委員のご挨拶などの開催セッションから始まりました。

第二セッションは国際協議会に関するセッションで同期のガバナーエレクト2名が登壇し(予定では3名登壇予定だったが1名ご不幸があり欠席された)、オランダでの研修内容などを次年度参加することになるガバナーノミニに対して情報の提供を行いました。驚いたのは国際協議会の準備は全エンドの国際協議会が終了してすぐに準備に取りかかって、約1年の準備期間



の後に開催されるということでした。参加者には数十ページの「ガバナーエレクトワークブック」が配布されますが、その内容の濃さは長期間に練り上げられてきたものだと納得がいきましたし、ファシリテーターの地域リーダーの方々はガバナーエレクトよりも1週間近く前にオランダに到着されて準備に取りかかっているということが解り、「遊びに来たわけではない!」水野功RI理事が現地到着後におっしゃっていた意味がこのセミナーでよくわかりました。登壇された方々の共通した意見は体調管理をしっかり行って参加するようにとのことでした。特に時差ボケやちょっとした常備薬は持参された方が良いと思います。

今回の開催テーマは「会員がやめないクラブづくり」で退会防止が目的でした。7つのセッションがあるなかで、4つのセッションのテーマが退会防止で、現在、日本のロータリーが会員維持に力を入れているのが良くわかるセミナーでした。昨年2025年のプログラムでは新クラブの結成やクラブの多様性、帰属意識などDEIを意識した内容でしたので、昨年と内容が大きく変わった印象が強いです。



年	クラブ数	会員数
2014	343	39
2019	387	34
2023	412	29

退会防止のセッションは会員増強コーディネーター部門が2つのセッションを担当し、公共イメージ向上コーディネーター部門、R財団コーディネーター部門がそれぞれ1つのセッションを担当してそれぞれの部門からの退会予防が提示されました。クラブ活性化ワークショップ同様にクラブの活性化には会員増強委員会だけでは無く、公共イメージ向上委員会やR財団委員会も関係していると言えると思います。内容もただパワーポイントで講義を聴くだけでは無く、寸劇で聴衆を笑わせながら勉強したり、登壇者が人値一人異なった切り口で体験談を話したり、和やかな雰囲気でのラーニングをする機会を得てきました。恐らくセミナーの手法もこれからは講演を聴取するだけの手法から、寸劇や音楽や動画を流したりする手法など進化していくのだと思われます。何年かすればパワーポイントは使う人がいなくなるのかもしれないと感じました。



このセミナーの配付資料やプレゼン内容のファイルはポータルサイトでダウンロードできます。特に第二地域RPICの桑澤一郎氏の資料はストーリーテリングの手法が具体的に説明されていますので今後の各クラブの情報発信に際してご活用いただければ、より素晴らしい広報活動となってロータリーの公共イメージの向上につながると思われます。

ポータルサイトのQRコードを掲載しますので、一度スマホで読み込んでみられることを希望して報告とさせていただきます。



会員動向

入会者



小比類巻 瑠香
(三沢RC)
3月3日入会



石田 完
(青森RC)
3月5日入会



佐藤 一成
(青森RC)
3月14日入会



佐藤 洋子
(青森RC)
3月14日入会



安田 真弥
(青森RC)
3月26日入会



長倉 亮介
(南部RC)
3月3日入会



若本 和明
(南部RC)
3月3日入会

退会者

クラブ名	氏名	退会日
六ヶ所	荒木 啓夫	3月31日
三沢	佐藤 太亮	3月24日
十和田	久保 明仁	3月31日
十和田	榎本 博実	3月31日
青森	緒方 雄二	3月31日
青森	桐原 豊彦	3月31日
八戸	永澤 信	3月31日
八戸	竹石 雄	3月31日
八戸	松林 拓司	3月31日
八戸	高木 康弘	3月31日

ロータリー財団寄付



金沢 守昭
(十和田東RC)
PHF+2



大下内 乙美
(十和田東RC)
PHF+2



白濱 道義
(十和田東RC)
PHF+1



堰野端 展雄
(十和田東RC)
PHF+1

米山記念奨学会寄付

<米山功労者>



肴倉 治
(十和田東RC)
第2回
マルチプル



佐々木 紀仁
(十和田東RC)
第2回
マルチプル



鎌田 秀幸
(十和田東RC)
第1回



照井 伸良
(十和田東RC)
第1回

2026年3月会員数の増減及び出席率表

グループ	クラブ名	例会数	出席率 %	正会員数								My Rotary 登録率 %	
				前月末 会員数	入会	退会	3月末 会員数	女性 会員数	期首 会員数	入会 累計	退会 累計		
東第一グループ	むつ (うち、むつ大畑) (うち、むつ八戸いちい)	4	75.00	60 (8) (9)	0 (0) (0)	0 (0) (0)	60 (8) (9)	5 (1) (1)	50 (8) (0)	11 (0) (9)	1 (0) (0)	16.67	
	野辺地	5	93.31	14	0	0	14	3	14	0	0		71.43
	七戸	3	80.95	14	0	0	14	2	13	3	2		14.29
	東北	3	77.08	16	0	0	16	2	16	0	0		56.25
	むつ中央	3	68.00	20	0	0	20	1	19	2	1		5.00
	六ヶ所	4	77.00	38	0	1	37	1	36	2	1		21.05
	小計				162	0	1	161	14	148	18		5
東第二グループ	三沢	3	51.40	21	1	1	21	2	21	1	1	28.57	
	十和田	3	44.00	30	0	2	28	7	33	3	8	23.33	
	十和田東	4	58.00	29	0	0	29	5	28	1	0	34.48	
	おいらせ	1	67.00	6	0	0	6	0	6	0	0	50.00	
	三沢東	3	67.70	36	0	0	36	4	36	1	1	25.00	
	十和田八甲	3	50.92	83	0	0	83	1	80	4	1	27.71	
	小計				205	1	3	203	19	204	10	11	
西第一グループ	五所川原	4	53.93	61	0	0	61	7	60	3	2	55.17	
	金木	4	80.00	10	0	0	10	1	12	0	2	10.00	
	鱒ヶ沢	2	65.70	16	0	0	16	2	16	0	0	25.00	
	鶴田	2	93.75	8	0	0	8	1	8	0	0	37.50	
	五所川原中央	3	42.00	22	0	0	22	1	24	0	2	45.45	
	つがる	4	61.30	33	0	0	33	0	34	0	1	21.21	
	五所川原イヴニング	2	39.00	24	0	0	24	7	25	0	1	45.83	
	小計				174	0	0	174	19	179	3	8	
西第二グループ	弘前	3	100.00	46	1	0	47	6	50	1	4	31.91	
	弘前東	2	75.00	8	0	0	8	5	9	0	1	25.00	
	板柳	2	90.00	10	0	0	10	2	8	2	0	20.00	
	黒石	3	70.00	23	0	0	23	3	23	0	0	34.78	
	大鱈	3	75.00	10	0	0	10	0	9	1	0	10.00	
	弘前西	2	100.00	30	0	0	30	4	29	2	1	33.33	
	平賀・尾上	2	27.70	9	0	0	9	0	9	0	0	33.33	
	弘前アップル	2	71.00	15	0	0	15	2	15	0	0	46.67	
	小計				151	1	0	152	22	152	6	6	
中グループ	青森	3	65.60	101	4	2	103	11	104	8	9	66.35	
	青森北東	2	91.70	20	0	0	20	3	20	1	1	55.00	
	青森中央	3	100.00	6	0	0	6	1	6	0	0	16.67	
	青森モーニング	2	86.10	19	0	0	19	3	20	2	3	36.84	
	小計				146	4	2	148	18	150	11	13	
南グループ	八戸	3	67.10	69	0	4	65	0	63	7	5	27.54	
	八戸東	3	100.00	51	0	0	51	1	46	5	0	33.33	
	三戸	3	90.00	7	0	0	7	1	7	0	0	71.43	
	五戸	3	86.00	12	0	0	12	1	12	1	1	41.67	
	南部	3	77.00	9	2	0	11	0	9	2	0	18.18	
	八戸北	2	63.30	39	0	0	39	7	38	1	0	25.64	
	八戸南 (うち、八戸南さくらエイト)	2	83.50	40 (9)	0 (0)	0 (0)	40 (9)	12 (9)	39 (9)	4 (2)	3 (2)	62.50	
	八戸中央	2	77.00	13	0	0	13	7	11	6	4	30.77	
	八戸西	3	44.10	37	0	0	37	23	34	3	0	29.73	
	小計				277	2	4	275	52	259	29	13	
合計 40RC				1,115	8	10	1,113	144	1,092	77	56	35.58	

※ () 内は衛星クラブの会員数です

期首会員数は2025年6月末会員数です

7月1日の会員数は1,107名です

3月末現在の入退会人数です

地区行事予定 2026年5月／青少年奉仕月間

月日	曜日	内容	会場
1	(金)		
2	(土)	西第1グループIM	金木中央公民館
3	(日)	憲法記念日	
4	(月)	みどりの日	
5	(火)	こどもの日	
6	(水)	振替休日	
7	(木)		
8	(金)		
9	(土)	クラブ・リーダーシップ・ラーニングセミナー (CLLS) 第13回全国インターアクト研究会・福島会議 (～10日)	弘前文化センター／フォルトーナ コミュニティ福島／郡山ニューホテルアネックス
10	(日)		
11	(月)		
12	(火)		
13	(水)		
14	(木)		
15	(金)		
16	(土)	米山奨学生卓話講習会 第2回RLI (～17日)	ホテル青森 YSアリーナ八戸
17	(日)		
18	(月)		
19	(火)		
20	(水)		
21	(木)		
22	(金)		
23	(土)	三戸RC創立60周年	住谷野「鴛鴦殿」
24	(日)	東第1・第2グループ合同IM	亀の井ホテル青森まかど (野辺地町)
25	(月)		
26	(火)		
27	(水)		
28	(木)		
29	(金)		
30	(土)	第29回日本青少年交換研究会・福岡会議 (～31日)	電気ビル共創館&みらいホールほか
31	(日)		

地区行事予定 2026年6月／ロータリー親睦活動月間

月 日	曜 日	内 容	会 場
1	(月)		
2	(火)		
3	(水)		
4	(木)		
5	(金)		
6	(土)	六ヶ所RC創立30周年 RYLA (ロータリー青少年指導者養成プログラム)	六ヶ所村文化交流プラザ スワニー 青森公立大学
7	(日)	RYLA (ロータリー青少年指導者養成プログラム)	青森公立大学
8	(月)		
9	(火)		
10	(水)	第1地域「地区ガバナーサポートミーティング」	Zoom
11	(木)		
12	(金)		
13	(土)	ロータリー国際大会 (～17日)	台湾・台北
14	(日)		
15	(月)		
16	(火)		
17	(水)		
18	(木)		
19	(金)		
20	(土)		
21	(日)		
22	(月)		
23	(火)		
24	(水)		
25	(木)		
26	(金)		
27	(土)	七戸RC創立60周年	七戸町中央公園内ふれあいセンターほか
28	(日)		
29	(月)		
30	(火)		

みなさんのロータリー活動をガバナー月信の表紙に!写真募集!!

みなさんのロータリー活動をガバナー月信の表紙に載せてみませんか?
2024-25年度ガバナー月信同様に、各クラブでのロータリー活動を撮影した
写真で毎号の表紙を飾りたいと思います。

掲載希望の写真は、地区事務所に掲載希望月の前月15日までに写真データと
写真の内容を簡潔にまとめたものをメールでお送りください。



残すところ1回!!

編集後記

今年度も残すところ、1か月少しくなりました。

先日参加した地区ロータリークラブ活性化ワークショップで印象に残った退会防止は、退会を決める一滴がコップから溢れた時ロータリーを去る。

でも、コップに溜まっていく途中で周りが気づかないことが実は問題だと・・・



だから、親睦することでお互いのコップの中に溜まった量を減らすことが大切だそうです。
クラブで自分が大切にされ、必要な存在であり感謝されていればコップから溢れることはないでしょう。

ロータリー活動を通して、そんな「人が人を支える価値」を高められるようになりたいものです。

さあ、今年度のクラブセントラルは目標に近づいていますか?
新年度のスタート準備は進んでいますか?

ガバナー月信 編集後記担当 **石川 佳共子**
(青森ロータリークラブ)